

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2020年5月19日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

例題でわかる工業熱力学(第2版)

正誤対象

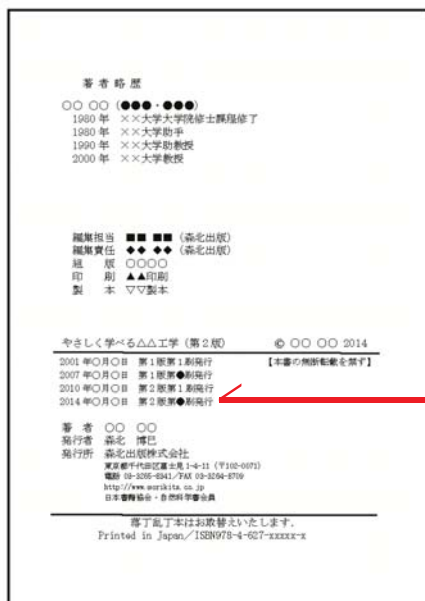
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1	対応刷数 1 より 2 までをご参照ください
2	対応刷数 2 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

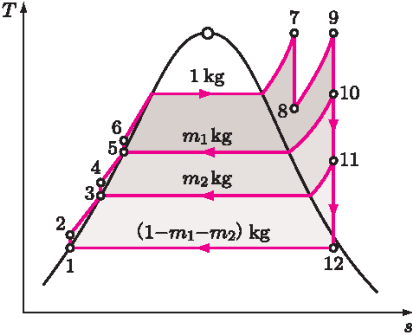
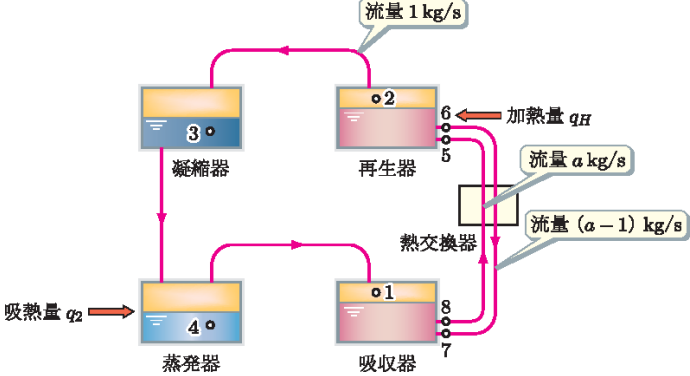
本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。

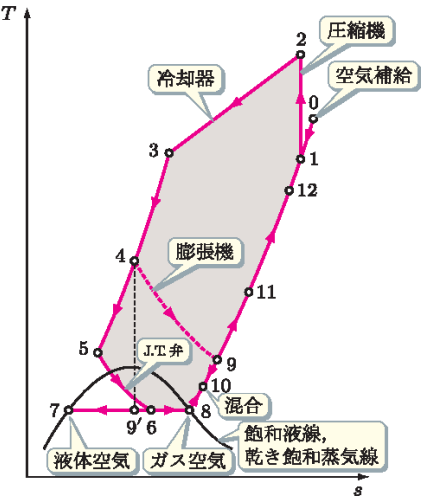


日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
2	vii	右列 下から 8 行目	閉じた系の 最大仕事	閉じた系の 有効エネルギー
2	vii	右列 下から 6 行目	開いた系の 最大仕事	開いた系の 有効エネルギー
2	viii	右列 下から 3 行目	$\Delta H_r^\circ = \sum m \Delta H_{f,\text{prod}}^\circ - \sum i \Delta H_{f,\text{react}}^\circ$	$\Delta H_r^\circ = \sum j \Delta H_{f,\text{prod}}^\circ - \sum k \Delta H_{f,\text{react}}^\circ$
2	viii	右列 下から 1 行目	$\Delta G_r^\circ = \sum m \Delta G_{f,\text{prod}}^\circ - \sum i \Delta G_{f,\text{react}}^\circ$	$\Delta G_r^\circ = \sum j \Delta G_{f,\text{prod}}^\circ - \sum k \Delta G_{f,\text{react}}^\circ$
1	52	図 3.14	(図下部) 乾球温度 d	乾球温度 t
2	76	14 行目	…, 式 (4.58) より,	…, 式 (4.59) より,
2	85	5.2.3 節 2 行目	… dW_a を求めてみる.	… W_a を求めてみる.
2	85	下から 4 行目	…, dW_a は…	…, W_a は…
2	86	図 5.3	((a)(b)それぞれ各 1 箇所) dW_a	W_a
2	90	5.3.1 節 1~2 行目	閉じた系の 有効エネルギー 式 (5.16) において, $V =$ (一定) であるから, そのときの最大仕事 $W_{12,F}$ は次式となる.	閉じた系の 最大仕事の 式 (5.16) において, $V =$ (一定) であるから, 等温・等容変化 の最大仕事 $W_{12,F}$ は次式となる.
2	90	5.3.2 節 1~2 行目	閉じた系の 有効エネルギー 式 (5.16) より, そのときの最大仕事 は次式となる.	閉じた系の 最大仕事の 式 (5.16) より, 等温・等圧変化 の最大仕事 $W_{12,G}$ は次式となる.
2	92	演習問題 5.1	20°Cの空気 1kg を 定容 のもとで…	20°Cの空気 1kg を 等容 のもとで…
2	95	Coffee Break 3 行目	… 飽和液 の 1673 倍…	… 圧縮液 の 1673 倍…

1	110	図 7.1	右図のように	
2	115	Coffee Break	等圧比熱 等容比熱	定圧比熱 (3 か所) 定容比熱 (3 か所)
1	120	例題 7.5 解答 5 行目	$\Delta T = 108.24 - 105.99 = 2.25^\circ\text{C}$	$\Delta T = 108.22 - 105.97 = 2.25^\circ\text{C}$
2	126	3 行目	…, 仕事を する (された) とは考えず, …	…, 仕事を した (された) とは考えず, …
1	130	図 8.7(b)	(左側の吹き出し) 断熱膨張によりエントロピーは一定	断熱 圧縮 によりエントロピーは一定
1	130	下から 8 行目	この際, 燃焼は緩やかに伝播するために…	この際, 燃焼は緩やかに伝播し, その間ピストンが移動 するために…
1	136	図 8.12	(右側の図の見出し) (a) T - s 線図	(b) T - s 線図
2	140	図 8.16(a)	(右側の吹き出し) 熱交換器で圧縮したガスを加熱	熱交換器に排熱を放熱
1	143	図 8.19(b)	右図のように (右下の吹き出しの当たる位置)	
1	152	下から 2 行目	$h_5 - h_6 = 1518.5 \text{ kJ/kg}$	$h_5 - h_6 = 1520.84 \text{ kJ/kg}$

1	163	図 9.12(b)	右図のように (6 の位置)	 <p>(b) T-s 線図</p>
2	163	下から 5 行目	ガス温度を高温熱源として…	ガスを高温熱源として…
2	169	図 10.4	(下の吹き出し) …熱量を低温熱源に吸収	…熱量を低温熱源から吸収
2	171	図 10.6(b)	(上の吹き出し) 冷媒は過熱蒸気から飽和液となり，熱を放出する (下の吹き出し) 冷媒は湿り蒸気から乾き飽和蒸気となり，熱を吸収する	冷媒は熱を放出して過熱蒸気から飽和液となる 冷媒は熱を吸収して湿り蒸気から乾き飽和蒸気となる
1	178	図 10.12	右図のように	

1	182	図 10.16(b)	右図のように (図の左下の部分)	 <p>(b) T-s 線図</p>
2	195	図 11.4	(右下の吹き出し) 陽極で酸素と水素が反応して水を生成	陽極で酸素と電子および水素イオンが反応して水を生成
1	207	付表 2	(飽和温度の列の下から 9 行目) 101.98	100.98